

## 特別講演会

### 『バイリンガルを育てる教育方法』

～バイリンガルになりたい人 なりたくない人 なれない人～  
アメリカ言語教育事情と多言語習得の可能性

日時：2016年1月25日（月）午前10時～正午

講師：UCLA アジア言語文化部 林 あさ子氏（教育学博士）  
日本語科講師 言語プログラムスペシャリスト

会場：Toyota U.S.A. Automobile Museum  
19600 Van Ness Ave., Torrance, CA 90501

参加費：\$5（JERC 会員は無料）

主催：JERC 日米教育サポートセンター



日本は近年の国際化に伴い、「早期英語教育」の是非が活発に議論されるようになり、早期二言語教育（バイリンガル教育）の可能性も論じられるようになりました。英語圏に住む日本人の子どもは自然に日本語と英語のバイリンガルになると信じられているようですが、果たして二つの言語は自然に習得されていくものなのでしょうか。感心の高い”バイリンガル”について、UCLA アジア言語文化部 日本語科講師で日英バイリンガルの研究をされている林 あさ子先生に、バイリンガルを育成するためには、子どもをどのように教育したらよいのかお話しいただきます。

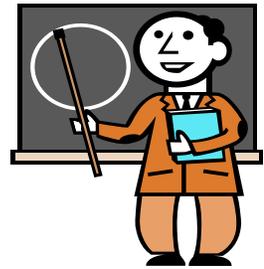
本講演では、日本語と英語のバイリンガルに求められる言語力をアメリカの初等、高等教育で収集した実例を示すと共に、アメリカの言語教育事情や、多角的な言語教育の重要性についてもご紹介いただきます。皆さま、どうぞお気軽にご参加ください。

< 参加ご希望の方は、JERC 事務局までお申込みください。 >

23545 Crenshaw Blvd., Suite 102, Torrance, CA 90505

Phone: (310)373-4888 or (310)502-3603 E-mail: [office@jerc.org](mailto:office@jerc.org)

## 教育オリエンテーションのご案内



テーマ：「アメリカの学校教育」  
～ 現地校で学ぶために ～

日時：10月22日（木）午前10時～正午

場所：JERC 日米教育サポートセンター

23545 Crenshaw Blvd., Suite 102, Torrance, CA 90505

Phone: (310) 373-4888

参加費：会員の方は無料、非会員の方には \$5 の寄付をいただいています。

アメリカの学校教育は、国の成り立ちが違う点からも日本とは大きく異なっています。お子さんを現地校で学ばせておられる保護者の方々には、アメリカの教育制度について、学校教育について把握していただき、ぜひ今後の参考にさせていただければと思っております。

また子どもたちは、第二言語である「英語」で毎日学習していかなければならない厳しい現状があります。保護者の方がお子さんをいかにサポートできるかが、現地校への適応につながっていくこととなりますので、重要なポイントではないでしょうか。

10月の教育オリエンテーションでは、「アメリカの学校教育」というテーマで、現地校におけるシステム、カリキュラム、成績表の付け方、指導方法、親の在り方、そして日本人の子どもたちが、現地校で教育を受けるために必要なことなどを中心にお話いたします。

10月、11月ごろになると、現地校への不適応を訴える子どもも出てきます。問題の芽は早く摘み取ることが大切ですので、対処の仕方などについてもお話する予定です。

アメリカ生活がスタートしたばかりの方、すでに数年経過しておられる方も、どうぞお気軽にご参加ください。ご質問にもお答えいたします。

### <内容>

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| * アメリカの教育制度について | * 現地校のシステム       |
| * カリキュラムと成績のつけ方 | * 英語で学習するということ   |
| * 幼稚園の選び方       | * 不適応を起こす原因と解決方法 |
| * 親の在り方         | * その他            |

< 参加ご希望の方は、JERC 事務局までお申込みください。 >

**Phone: (310)373-4888 or (310)502-3603      E-mail: [office@jerc.org](mailto:office@jerc.org)**

会員の皆さまへ

## 企業会員、個人会員の皆さまへ 2016年度 会員登録更新手続きのお願い

平素よりのご支援に感謝申し上げます。

JERC 日米教育サポートセンターでは、企業会員の皆様に 2016 年度企業会員、個人会員登録更新手続きをお願いする時期を迎えております。お忙しいところ誠にお手数ではございますが、会員登録更新手続きの方、どうぞ宜しくお願い申し上げます。同封させていただきましたそれぞれの「会員更新登録書」の用紙に必要事項をご記入の上、返信封筒にてチェック (JERC 宛) を添えて、JERC 事務局までご返送いただきたくお願い申し上げます。

尚、クレジットカード (Visa or Master) でのお支払いも受け賜っております。

昨年度も当団体は、会員皆さまよりの絶大なるご支援を賜りまして、積極的に教育的活動を展開することができました。設立以来、教育オリエンテーション、教育相談、教育情報満載のニュースレターの発行、そして改訂版教育ハンドブックも多くの皆さまにご利用いただいております。そして長年、皆さまよりの絶大なるご理解とご協力は、次世代を担う青少年の育成に着実に喜ばしい結果を出しております。どこの学校区に於きましても、日本人子女は快く迎えられ大きく育てられております。

3月1日には、当団体設立 20 周年を記念いたしまして、日本より独立総合研究所社長 青山繁晴氏をお迎えし「青山繁晴講演会」を開催いたしました。前代未聞! 6 時間 20 分に及ぶ講演時間に、ご参加いただいた約 300 名の皆さまには、大いにご満足いただけた講演会となりました。

また、お楽しみいただいております『日米親善ジュニア野球大会』は、今年度も 8 月 22 日と 23 日の 2 日間、MLB Urban Youth Academy Baseball Field に於きまして開催いたしました。当団体と MLB 傘下 Urban Youth Academy は、活発な親善試合が行なえるよう『USA-JAPAN International Baseball Foundation』を設立し、高校野球大会、ジュニア野球大会を実施しております。12 月には、石川県高校野球連盟より選出された高校球児が、MLB Urban Youth Academy との親善試合を行うため LA に参ります。選手諸君の野球を通しての日米親善に、多くの皆さまよりのご支援とご協力をお願い申し上げます。

このように様々な教育的活動、団体運営は企業会員各社の金銭的な援助なしには継続できない旨をご理解いただきまして、次年度も引き続き暖かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

尚、ニュースレターは、これよりメールでの配信のみとさせていただきますので、企業会員の方々には代表者と秘書の方のメールアドレスをご登録いただきますようお願い申し上げます。

### 国語専科 / 日本語教室

#### 生徒募集

幼児教育  
幼稚園・小学校受験、家庭教師  
小学生・中学生クラス



お問合せ、お申込みは下記まで。

**Tel: (310) 502-3603**

**E-mail: rmiwanaga@gmail.com**



#### 西大和学園カリフォルニア校 西大和学園補習校

2458 Lomita Blvd. Lomita, CA 90717

Tel: 310-325-7040 / Fax: 310-325-7621

Homepage: [www.nacus.org](http://www.nacus.org)

Email: [mail@nacus.org](mailto:mail@nacus.org)

## アメリカの学校における生徒への指導

アメリカの学校における、子どもへの教育の仕方をご紹介する前に、まず子どもの育て方の基本をお伝えしなければなりません。この国の人々は「子どもが幼い時は、何も解らないのだから大人の言うことは聞かなければならない」と考えています。従って幼い頃の家庭での躾が大切なわけで、家庭内のルールを作り、役割分担を決めて厳しく育てます。家庭においては親の言うことを聞き、学校においては先生の言うことを聞かなければならないというルールが社会にはあります。

日本のように「幼い子どもなのだから、何も解らないのだから仕方がない」と許してしまえば、躾の時期を逃してしまうことになります。厳しくすると、反発したりぐれてしまうのではないかと、子どもにビクビクしている親が最近非常に増えていると言われています。幼児期をこのように甘やかされた環境で育てられた子どもが、学校という集団生活の中でルールを守り、先生の言うことを聞くという姿勢で学習に臨むことはできません。教科を学ぶ姿勢は、小学校入学前までに訓練されていなければなりません。家庭教育がしっかりなされていれば、学級崩壊などという問題は起きず、教師が対応に苦慮することもありません。

アメリカは、3歳までに自立させることを目指して育てます。幼児期の土台があって学校生活が始まるわけですが、子どもたちは“家庭内のルール”の中で育てられた後、“教室内のルール”が加わることになります。以下は学校に於ける指導の仕方です。

- 1、生徒への対応は、誉めて教育するのが基本。しかし教師の言うことを聞かなかったり、校則に違反した場合は、厳しい措置が取られる。
- 2、教室内のルールを作り、それを守るように生徒を指導している。ルールを破れば「Time out」を宣告され、教室外に出される。担任が対応できない問題の場合、校長室に行かされ保護者が呼び出される。
- 3、教師の生徒に対する接し方や言葉がけは、相手を尊重する姿勢がある。

教師は生徒に注意したときや叱った後で、必ず「Thank you.」と言います。これは「私の言うことを聞いてくれてありがとう」また「私が仕事をし易いように協力してくれてありがとう」という意味だそうです。これはやはり英語という言葉の持つ文化ではないかと思えます。英語はポジティブ思考ですから、良い面を捉えています。そして一人の人間として尊重し、認めている態度であると思えます。

また現地の小学校の教師は、同じ学年を何年も受け持ちます。5年生の担任を20年間続けているベテラン教師もおり、5年生のエキスパートとなるわけです。教師のロッカーには、豊富な教材が収められています。

教室での指導方法も、教科によってはレベル分けされているので、教師はなかなかたいへんです。

1. 生徒の個人差に対応しながら指導している。Math（算数）Language Art（国語）などは3つのレベルに分けることもあり、与える教材が一つではないため、教師は、その準備もさることながら、指導への対応も要領よくこなさなければならない。
2. 教科においては、教師は授業の中で「Why?」「How?」「What?」と生徒に質問をし、常に考えさせ意見を持たせ、そして発言させる。一方的に知識を教えるだけではなく、生徒に考えさせていく指導方法は、日本でもどんどん取り入れられるとよいと思う。

5ページに続く

4 ページから続く

アメリカは「Why - Because の文化」と言われていますが、一般市民の間の会話でも、必ず“Why”と相手に質問し、相手は必ず“Because”で答えます。教師からの質問に対し、生徒は自分の意見を述べるわけですが、教師はその答えが正しいとか間違っているなどと言うことは絶対にありません。その生徒の考えなり意見はあくまでも尊重します。

高校では、スピーチやディベートの時間があります。アメリカでは、スピーチが上手であることが社会に人に認められる最大のポイントです。それにジョークがどれくらい加味できるかで評価も変わってきます。大統領は、スピーチが上手く如何に人を引き付けることができるかで評価されます。

4年毎に行われる大統領選挙の年にはクラスの中で、A候補役の生徒とB候補役の生徒に分かれて、それぞれの政策をアピールするための模擬討論会を開きます。高校時代から政治に関心を持ち、大統領選挙について学びます。日本も、18歳から選挙権を与えられることになりましたが、学校で政治について教育されていないのに選挙権を与えても大丈夫なのか、という心配の声も聞こえてきます。これを機に、ぜひクラスの中で討論会を実施してみましょう。また模擬裁判を開くこともあります。原告と被告に分かれ、それぞれの立場で言い分を主張し合います。その中で、裁判官、検察官の役割や審議の進め方を学びます。ここには“生きた教育”があります。

学年で教えなければならない基本的なことは決められていますが、後は教師の裁量に任されています。従ってサイエンスを好む先生は、授業もサイエンスに偏りがちであることは否めません。その辺の、教師の当たりはずれが問題になることはしばしばあります。

アメリカの教育は、民主主義を守るための教育です。すなわち民主主義とは「国家の主権は人民にあるとする思想に基づき、政治の上で、国民の意思を尊重する主義である。」と定義されているように、この民主主義を貫くために、国民一人一人がしっかりと自分の意思を明確にし、発言できるように教育しているのです。



R, I,

### ★★★ 教育相談室 ★★★

JERCでは、随時教育相談を受付けています。オフィスでも、お電話でもE-mailでも結構です。疑問やお悩みのことがございましたら、お気軽にご相談ください。ベテランの教育アドバイザーが対応しております。

海外でのお子さんの教育は、保護者の方にとって一番の悩みになっておられるのではないのでしょうか。子どもの教育を現地校で受けさせようか日本人学校がよいのか、現地校のシステム、先生とのコミュニケーションのとり方等について、また、英語をどう学ばせたらよいのか、現地校に適応しなくて困っている等、教育に関する様々な問題が日々起こってきます。お子さんが有意義な海外生活、学校生活を送るには、できるだけ早く対処し解決することが重要なポイントとなります。異文化での生活は、お子さんだけでなく保護者の方もお悩みのことが多々あります。どうぞお気軽にお電話ください。

**JERC : 午前 9 時から午後 5 時まで。 Phone : (310) 373-4888**

ホームページからもご相談いただけます。 URL : [www.jerc.org](http://www.jerc.org) E-mail : [office@jerc.org](mailto:office@jerc.org)

★ ★ ★ 活動スケジュール ★ ★ ★

10月	22日(木)	午前10時	教育オリエンテーション
	22日(木)	午後1時	定例理事会
11月	21日(木)	午前10時	教育オリエンテーション
	26日(木)	午後1時	定例理事会
12月			日米親善高校野球大会 石川県代表

図書の貸出しについて

JERC 日米教育サポートセンターでは、絵本、児童書そして大人向けの本を貸し出しています。  
どなたでも借りられますので、いつでもご利用ください。



23545 Crenshaw Blvd., Suite 102, Torrance, CA 90505 Phone: (310) 373-4888 E-mail: office@jerc.org

**KEMPO-TV** は、海外にお住まいの皆様へ情報をお届けしています。

毎週木曜日 KXLA-TV CH44 (COX COMMUNICATIONS は CH 31)

『教育シリーズ』 午前8時20分～8時30分

**KEMPO-TV** ウェブサイト : [www.kempo-tv.com](http://www.kempo-tv.com) もご覧ください。



Honorary Members

Consulate General of Japan in L.A.  
Japanese Chamber of Commerce of  
S. California  
CA States Assemblyman  
Mr. George Nakano  
Torrance Unified School District  
Palos Verdes Unified School District

Corporate Members

American Honda Motor Co, Inc.  
Aisin World Corp. of America  
ANA Trading Corporation U. S. A.  
群馬こども英語教育研究会  
Kawai America Corporation  
Nishiyamoto Academy of California  
Pentel of America, Ltd

Sumitomo Electric U.S.A., Inc.  
Takuyo Corporation / Lighthouse  
Toyota Motor Sales, U. S. A., Inc.  
Toyo Tire Holdings of America's Inc.  
Underwood Trading Company  
Union Bank



会員募集中

JERC は個人会員と企業会員の会費で運営しております。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。会員は随時募集しております、ホームページから会員登録書を入手していただけます。

\* 企業会員の場合、社員の方を個人会員として登録できます。

\* この会費は、2016年12月31日までの分です。皆様のご支援をお願い申し上げます。

編集後記

JERC Newsletter

1250号 (2015年10月発行)

Phone: (310) 373-4888 E-mail: office@jerc.org  
ホームページ : [www.jerc.org](http://www.jerc.org)

JERC 日米教育サポートセンター  
23545 Crenshaw Blvd., Ste.102, Torrance, CA 90505